

市政 Q & A

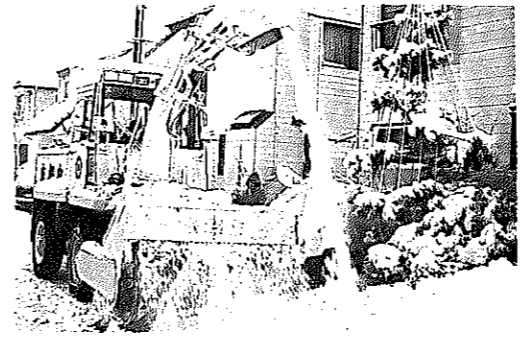
市の除雪計画は

あなたの疑問にお答えします。市政と市民のほほ笑みキャッチボール。

Q 今月は質問がなかったで、市の除雪計画について掲載します。

A 今年も市は除雪計画を立て、冬場の市民の足と、生活道路の確保に努めることにしています。今年度、市が除雪する市道の延長は、全体の八二・四％に当たる二百六十九・一キロ。ロータリー除雪車をはじめとする除雪車両の充実も図っています。さらに市道のほかに、国道は建設省が、県道は新潟土木事務所が除雪します。歩道の除雪は国、県分を含め、昨年よりも七・六倍多い三十七・一キロを実施します。

これまで毎年、市では除雪計画の地区別説明会を行ってきました。お陰をもち、除雪実施の基本方針、体制など、市民の皆さんから十分理解いただいたと思われまふ。今年度から地区別説明会を行います。一層の除雪作業を進めるに当たって



このコーナーは皆さんから寄せられた市に対する質問や要望を掲載し、お答えするものです。住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、企画調整課広報広聴係（〒950-12 白根市大字白根1235）までお寄せください。匿名は原則としてご遠慮を。なお、お寄せいただいたご質問の中には、回答に時間のかかるものもあります。極力紙上で回答したいと考えています。ご了承ください。

- ①路上駐車、路上放置はしない。特に雪の降り始めは、たかをくくりがちです。一台の車のために大勢の人が迷惑をします。路上駐車、路上放置はやめましょう。
- ②ゴミ、し尿の収集にご協力を。雪のためにゴミ収集車が通れない区域は、運行が可能になる
- ③消火栓付近の除雪にご協力を。冬の間、最も心配されるのは火災の発生です。消火栓付近の除雪など、消防水利の確保に努めましょう。
- ④除雪した道路に雪を出さない。せっかく除雪したばかりの道路に雪を投げ出す人がいます。自動車スリップするなど、大変危険です。玄関口をふさいだ雪は、玄関わきに積むなどのご協力をお願いします。
- ⑤除雪についての連絡・問い合わせ 建設課（☎373・2111 493、494）へ

広がれ、健康家族

保健センター (☎373・4300)

飲酒習慣と健康

忘年会や新年会など、お酒を飲む機会が増える季節。アルコール消費量は年々増加し、昭和六十一年の消費量は昭和四十一年の二倍になっています。しかし、近年大きな問題になっているのがアルコールに起因する病気。肝炎、喉頭がん、食道がんなどのほか、アルコール依存症も問題になっています。さらに、飲酒による事故、欠勤、家庭崩壊なども見逃せません。



酒は上手な飲み方さえすれば、ストレス解消や疲労回復などに役立つ「百薬の長」です。しかし、飲み過ぎれば身も心も破壊する「悪魔の水」になることを忘れてはいけません。健康的に快く酔うための自分に合った酒の量を知り、お酒に飲まれないコツを覚えましょう。

- ①酒と上手に付き合う五ヶ条 日本酒なら一合、ビール大瓶
- ②週に二日は「休肝日」を。肝臓に十分な休養を与えましょう。
- ③マイペースで楽しく。イッキ飲みは急性アルコール中毒になる可能性があるため、早くと散らさず。
- ④食べながら飲む。アルコールの吸収を遅くし、血中のアルコール濃度を急激に上げないようにします。酒のさかなは魚・肉・野菜をバランスよく取りましょう。
- ⑤濃いお酒は薄めて飲む。胃壁を荒らさず、アルコール依存症にならないように、水割り、お湯割りなどで飲みましょう。

広報クイズ 33

今月の問題

- ①このほど完了した県営ほ場整備事業。何年かかりで進められた事業だったでしょう？
A 10年 B 15年 C 18年 (ヒント=4ページ)
- ②お酒と上手に付き合うためには適量を知ること大事。目安はビールならどのくらい？
A 大瓶1本 B 大瓶2本 C 大瓶3本 (ヒント=9ページ)
- ③お母さんの絵を書いてくれた香織ちゃんが大きくなったらなりたいたいのものは？
A 看護婦さん B スーパーマン C ジェットマン (ヒント=14ページ)

応募の方法

はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。
□あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 □締め切り 12月14日 (必着) □抽選 12月16日(月)に市役所に来られた人に抽選していただきます。 □発表 1月1日号

当選おめでとう

- [500円の図書券]
- ▶山口真弓さん(和泉・33歳)
 - ▶増田和子さん(旭町・39歳)
 - ▶早藤恵子さん(白井・43歳)
 - ▶小川友美さん(諏訪木・9歳)
 - ▶富井加世子さん(古川団地・8歳)
- [県立自然科学館招待券]
- ▶木川真理子さん(上下諏訪木・9歳)
 - ▶皆川藍子さん(日の出町・11歳)
 - ▶古寺洋之さん(上下諏訪木・16歳)



抽選は11月20日に市役所に来られた田部幸雄さん(上鷲ノ木)にお願ひしました。先月号の正解は●A ●C ●B。応募総数は45通で、全員が全問正解でした。

今週、現代学、習生

教育委員会社会教育課 (☎373・3171)

青年期で大切にしたいこと

「市生涯学習推進基本計画」では成長過程の目標を各時期ごとにまとめました。今回は義務教育終了から家庭を築くまでの青年期(十五〜二十五歳)です。

【目標】豊かな心、たくましさ、思いやる心を養い、自己を確立する

この時期は、情緒的に親から独立します。職業を選択し、政治や地域のことに進んでかわり、社会的にも国際的にも自分の役割を認識するときです。人間関係を豊かにし、人間の幅を広げ、自分自身を確立するときでもあります。また、結婚して家庭を築くことにより、出産、育児などについても学習します。

■現代青年の特徴
現代青年には、次の三つの際立つ特徴が挙げられます。

①遊びの貧困化とともに、仲間と一緒にいながらも、別々の遊び行動をする
②情報は豊富だが、生活体験が少ないため話が下手
③年齢が離れた人とは、ストレスがたまるため付き合い合わない
これは子供時代に塾通いが一般化し、外遊びが少なかったことが背景となっているようです。子供たちだけで遊ぶこと、仲間を作ることを、自発的に学ぶことが少なかったという事です。

■活動から仲間作りを
豊かな人間関係を築くには、青年活動や地域づくり活動に参加することが必要です。人間関係の広がりや、知識・技術の習得は自分自身を確立することにもつながります。

青年教育センターでは、青年たちの仲間づくりや知識・技術の習得のための講座をはじめ、さまざまな事業を実施しています。また、そこは青年団体・グループの活動の場としても利用されています。有効に活用し、仲間の輪を広げたいものです。

市立図書館

今月の受け入れ図書

▶開館時間 ※祝日は休館
月・水・木・土・日曜日
午前9時～午後5時
火・金曜日 午前9時～午後8時
▶貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間貸りられます。

今月の一冊



上・下 女として、金賢姫

「大韓航空機爆破事件」から三年余り。幼い日の生活、そして女性工作員となるために自らの家族と過去を捨てた日々、革命戦士の道を歩んだ日々、日本人李恩恵のこと、事件の全貌と悔い改めの日々。深い折りとも、元死刑囚「金賢姫」が語る数奇な半生。

